

報道関係者 各位 【プレスリリース】

ネットヨタニューリー北大阪株式会社

2026年6月3日



病室から出られない子どもたちへ、地域の思いを「7色の手形アート」で届ける！

阪大病院小児科×ネットヨタニューリー北大阪「虹プロジェクト」始動
～6月13日(土)豊中少路店にてキックオフイベント開催・メディア取材のご案内～



ネットヨタニューリー北大阪株式会社（本社：大阪府豊中市、代表取締役社長：小西）は、大阪大学医学部附属病院（以下、阪大病院）の小児科で長期入院を余儀なくされている子どもたちと、彼らを全力でサポートしている医療従事者を支援するための地域巻き込み型寄付企画

「虹プロジェクト」を、2026年6月13日（土）より、当社が展開する北摂地域の7店舗にて順次スタートいたします。

本プロジェクトは、地域住民の皆様から募った「がんばって！」というエールを「7色の手形アート（横断幕）」という形にして、集まった寄付金とともに阪大病院小児病棟へ届ける取り組みです。

つきましては、プロジェクトの幕開けとなる第1回イベント（豊中少路店）におきまして、メディアの皆様に向けた取材の場を設けました。地域貢献と医療支援が結びついた心温まる取り組みを、ぜひご取材いただけますようお願い申し上げます。

1. メディア様向け取材のご案内（第1回キックオフイベント）

プロジェクト初日となる6月13日（土）は、本企画のスタートを象徴するキックオフイベントを以下の通り開催いたします。地域の子どもたちが手形アートに参加し、巨大な虹の一部を作り上げていく臨場感のある様子や、発起人である当社社長、およびプロジェクト関係者のインタビューが可能です。

- **日時：2026年6月13日（土）・14日（日） 10:00～16:00**
- **場所：ネットヨタニューリー北大阪 豊中少路店（豊中市少路1丁目6-5）**
- **主な取材対象：**
 - ご来店された地域のお子様連れのご家族、手形アート制作の様子
 - 大人たちが「ハズレなしガチャ」を通じて寄付に参加している様子
 - ネットヨタニューリー北大阪 代表取締役社長 小西へのインタビュー
 - プロジェクト運営スタッフへのインタビュー

- **取材のポイント：**

- ビジュアルの連動性：子どもたちが色鮮やかなインクで手形を押し、アートが徐々に形作られていく様子を写真や映像に収めていただけます。
- 社会的意義：単なる企業の資金寄付にとどまらず、コロナ禍以降も面会制限などが続く「小児病棟のリアルな課題」に地域社会がスポットを当てる先進的な事例です。

2. 「虹プロジェクト」発足の背景と、阪大病院小児科の現状

■ 1人の医師との出会いから始まった企画

本プロジェクトは、当社代表の小西が、とある会合で阪大病院小児科の北畠（きたばたけ）医師と出会ったことから動き出しました。北畠医師から語られたのは、高いレベルの医療技術の裏側にある、長期入院を余儀なくされている子どもたちと、そのご家族が置かれた過酷な現状でした。

■ 人生の半分以上を病院で過ごす子どもたちの存在

阪大病院の小児科には、年間で約1,000人もの子どもたちが入院してきます。数日で退院できるケースがある一方で、1年以上の長期にわたる子や、最長では6年以上もの期間を病室で過ごしている子どもたちも少なくありません。子どもたちにとっては、年齢によって「人生の半分以上」を病院で過ごしていることとなります。彼らは自由に外へ出ることが叶わず、プライバシーも制限された環境の中で、日々病気と闘いながら、大きなストレスを抱えて生活していま

す。また、付き添うご家族にとっても、泊まり込みの負担、遠方からの長距離移動による経済的・肉体的負担、そして精神的な孤立といった大きな課題が存在しています。

■ 勤務時間外にも「子どもの夢」を叶え続けるドクターたちの熱意

子どもたちを少しでも元気づけようと、阪大病院小児科のドクターたちは、日夜の多忙な診療業務の傍ら、有志で「子どもたちの個別の夢を叶える活動」を続けてきました。最初は全員向けのイベントを行っていましたが、「楽しめる子とそうでない子がいる」という気づきから、子どもたち一人ひとりの「○○してみたい！」に寄り添う形へと変化していきました。

これまでにドクターたちが叶えてきた夢の例：

- 成人の日を迎えた患児のために、スタイリストや着付け師を病棟に呼び、着物姿で記念撮影を行う。
- 家族全員が集まる機会を作り、病棟内で焼きそばパーティーを開催する。
- 医療機器を携え、万全の医療チームを編成して付き添い、映画館での映画鑑賞や大相撲観戦を実現させる。

これらの活動は、驚くべきことに、ドクターたちの「子どものためなら何でもする」という自発的な熱意と、個人の寄付によって成り立っていました。

■ 企業から地域へ、支援の輪を広げる意義

この素晴らしい取り組みを知った当社は、「単に企業としてまとまった資金を寄付するだけではもったいない。地域全体を巻き込んでこの現状を広く知ってもらい、地域みんなのエールを届けることで、ドクターや子どもたちをより力強く後押しできるのではないか」と考えまし

た。北摂地域に根ざす企業として、人と人、地域と医療をつなぐ架け橋となるべく、社内プロジェクトとして「虹プロジェクト」を立ち上げました。

3. 「虹プロジェクト」寄付・イベントの仕組み

本プロジェクトは、誰もが気軽に参加でき、楽しさと温かい想いが循環する2つの仕組みを用意しています。

① 子どもたちの手形でエールを届ける（1手形＝1,000円寄付）

当社の店舗にご来店いただいたお子様に、専用の用紙へ手形を押していただきます。手形が1つ集まるごとに、ネットヨタニューリー北大阪が1,000円を拠出し、阪大病院へ寄付いたします。（※参加するお子様やご家族への金銭的負担はございません）

手形は、展開する7つの店舗ごとに異なる色（全7色）で集められます。最終的にこれら7色の手形を1つに統合し、巨大な「7色の虹の横断幕」を制作。完成したアートは、ネットヨタニューリー北大阪豊中店の壁面に掲示する予定です。

② 大人も参加できる「ハズレなしガチャ」寄付（1回500円）

大人の方や、さらに追加で応援したいという方向けに、1回500円で挑戦できる「ハズレなしガチャ」を設置いたします。この売上（1回につき500円）は全額、阪大病院小児科の活動へ寄付されます。ご参加いただいた皆様への感謝の気持ちとして、商品は500円相当以上の景品が入っており、景品代はネットヨタニューリー北大阪が負担、参加者全員が笑顔になれる仕組

みとなっています。

4. 全7店舗の開催スケジュール

少路店でのキックオフを皮切りに、北摂エリアの全7店舗をリレー形式で巡り、地域のエール（7色）を繋いでいきます。

- 第1回：6月13日（土）・14日（日） 豊中少路店（豊中市少路1丁目6-5）
 - 第2回：6月21日（日）・28日（日） 吹田店（吹田市東御旅町1-24）
 - 第3回：7月4日（土）・5日（日） 千里店（吹田市山田西1丁目36-10）
 - 第4回：7月18日（土）・19日（日） 緑ヶ丘店（豊中市春日町5丁目9-13）
 - 第5回：7月25日（土）・26日（日） 箕面小野原店（箕面市粟生新家2丁目1-39）
 - 第6回：8月1日（土）・2日（日） 池田店（池田市荘園1丁目12-35）
 - 第7回：8月15日（土）・16日（日） 豊中店（豊中市稲津町2丁目4-1）
-

5. 主催企業および連携機関の概要

■ ネットトヨタニューリー北大阪株式会社について

大阪府の北摂エリア（豊中・吹田・箕面・池田など）を中心にトヨタ正規ディーラーを展開。

「地域密着・地域貢献」を企業理念の核に掲げ、モビリティ社会の発展を支えるだけでなく、独自の地域振興券発行（加盟店1,700）や、地域通貨「ファン」の運用、結婚相談所事業「とよ婚。」の運営、ロハスフェスタ万博やラーメンEXPOなど大型イベントステージの監修、新人研

修で米を作り地域の子ども食堂に届ける活動など、豊かで活力ある街づくりに積極的に参画しています。

■ 大阪大学医学部附属病院 小児科について

日本屈指の高度小児医療・最先端医療を提供する拠点病院として、全国から集まる重症患児の治療とケアにあたっています。単に病気を治すだけでなく、子どもたちの「QOL（生活の質）」の維持・向上、そしてそのご家族を包括的に支えるケアシステムの実践を重視しており、地域医療機関や地域住民との双方向のつながりを大切にしています。

6. 本件に関するお問い合わせ・ご取材お申し込み先

当日、スムーズにご取材（撮影位置の確保やインタビュー時間の調整など）いただけるよう、大変お手数ですが事前のご連絡にご協力をお願い申し上げます。画像データ提供や、社長・担当者への事前インタビュー等のご要望も承ります。

- 企業名：ネットトヨタニューリー北大阪株式会社
- 担当者：広報室・山本一夫（やまもとかずお）
- 電話番号：06-6863-0611 / 080-5776-7207 ※携帯電話は24時間対応します
- FAX番号：06-6863-6580
- メールアドレス：n809818@netznewly.co.jp
- 本社所在地：大阪府豊中市稲津町2丁目4-1
- 公式ウェブサイト：<https://www.netznewly.co.jp/>